



2023 年（令和 5 年）5 月 23 日

帝国ホテル 東京・大阪に CO2 フリー電力を 2023 年 10 月より導入

使用電力の全量を切り替え
脱炭素とサステナブルツーリズムを推進

株式会社 帝国ホテルは、帝国ホテル 東京および帝国ホテル 大阪において、2023 年 10 月より使用電力の全量を、FIT 非化石証書の調達を利用した CO2 フリー電力に切り替え、電力による CO2 排出量ゼロ化を図ります。



当社は昨年発表した「中長期経営計画 2036」の基本戦略のひとつに社会的課題の解決を掲げ、企業活動の全てにおいて SDGs 達成への貢献を、最大限向上させることを目指しています。その中で、サステナビリティ推進における気候変動への取り組み（CO2 排出量の削減）として、直営事業所における CO2 排出量を 2030 年度までに 40%減（2013 年度比）、2050 年度までにカーボンニュートラルを目指す「脱炭素ロードマップ」を策定しました。

2023 年 10 月より、帝国ホテル 東京と帝国ホテル 大阪で CO2 フリー電力を導入することで、CO2 削減量は 2023 年度に年間 11,900 トン（電力消費における CO2 排出量対 2013 年度比マイナス 44%）、2024 年度に年間 16,900 トン*（同マイナス 68%）となります。

これにより、直営事業所における CO2 排出量について、当初の目標より早く 2023 年度中に 40%減、2030 年度には 60%減を達成する見込みです。

今回の導入にあたり、東京は東京電力エナジーパートナー株式会社、大阪はデジタルグリッド株式会社の協力を得ています。

また、上高地帝国ホテルでは、2022 年 4 月より、カーボンニュートラルでの運営を開始しています。

当社は CO2 フリー電力の導入により、温室効果ガスの排出量を減らし、気候変動への

影響軽減に貢献するとともに、世界中で高まるサステナブルツーリズムの需要に対応できるよう、今後も SDGs 達成への取り組みを推進してまいります。

*CO2 排出量年間 16,900 トンは、一般家庭約 9,300 世帯分の排出量に相当〔環境省「令和 3 年度家庭部門の CO2 排出実態統計調査」の結果（1 世帯あたりの電気における年間 CO2 排出量 1.82t-CO2）から算出〕

<帝国ホテル カーボンニュートラル達成にむけた取り組み>

2002 年	帝国ホテル 東京の屋上で、太陽光発電施設を伴った屋上緑化を開始。高層建造物での太陽光発電を組み合わせた屋上緑化は、当時初めての例。 ※屋上緑化はヒートアイランド現象の緩和や大気汚染の浄化、雨水の流出抑制に効果を発揮し、緑化部分の直下階の室温が 2～3℃下がることによる省エネルギー効果も期待できます。
2005 年	帝国ホテル 東京・帝国ホテル 大阪で、イルミネーションや主催イベントにおいてグリーン電力証書の活用を開始。 ※現在も、お客さまが宴会やイベントを開催される際にグリーン電力の利用をご案内するなど、使用拡大を図っています。
2013 年	帝国ホテル 東京で空調用循環水の高低落差を利用した小水力発電を開始。
2021 年	帝国ホテル 東京・帝国ホテル 大阪の厨房ガスを「カーボンニュートラル LNG」へ切り替え。
2022 年	上高地帝国ホテルで、館内で使用する電気を中部電力ミライズの信州産 CO2 フリー電気「信州 Green でんき」に全面的に切り替え、ガスや灯油は J-クレジットのカーボンオフセットを導入し、ホテルから排出される CO2 の実質ゼロ化を達成。

【ご参考】帝国ホテルのサステナビリティ推進活動

・帝国ホテル サステナビリティレポート

https://www.imperialhotel.co.jp/j/company/pdf/sustainability_report2022.pdf

・帝国ホテル サステナビリティ調達方針

https://www.imperialhotel.co.jp/j/company/pdf/sustainability_policy_2023.pdf

・帝国ホテル「Sakura Quality An ESG Practice」の最高評価「5 御衣黄ザクラ」を 3 事業所同時に取得

https://www.imperialhotel.co.jp/j/company/release/pdf/sakura_quality.pdf